

後期高齢者医療広域連合議会 (2月9日 田口一登議員)

後期高齢者医療の保険料を値上げ

5.86%の保険料値上げが「適切な水準」か?



2月9日の愛知県後期高齢者医療広域連合議会(34名。共産党2名)で、保険料の値上げ条例などが審議され、田口一登議員は、議案質疑や反対討論、請願への賛成討論で8回、知立市の佐藤議員も3回登壇しました。

介護保険料でも高齢者に負担増

2012年度・2013年度の保険料の値上げ(一人あたり平均で年額4,439円、5.86%の値上げ)が争点となりました。

田口議員は「名古屋市内に住んでいる夫の年金収入250万円、妻は80万円以下の夫婦世帯の場合、介護保険料の値上げ額は夫婦合計で年間3万3千円程度、これに後期高齢者医療の保険料の値上げ額10,200円を合わせると、年間4万3千円もの負担増となる。名古屋市では来年度、市民税5%減税が実施される予定だが、この世帯の減税額は年間1,600円程度にすぎない。減税分の27倍もの負担増が、二つの保険料値上げによってのしかかり、減税の恩恵は吹き飛んでしまう」と告発し、連合長の態度をただしました。

基金を取り崩して保険料の抑制を

連合長は「保険料の増加率は適切な水準」と、年金の支給額が減らされる高齢者の生活実態をみない冷たい答弁でした。田口議員は「財政安定化基金の残高(約24億円)をさらに取り崩して、保険料を抑制せよ」と強く求めました。

請願はすべて「不採択」

保険料値上げ中止などを求める請願4件の審査は、田口議員が全員協議会(非公開)で請願4件の趣旨説明を行い、採決にあたり、田口議員と佐藤議員が4件の賛成討論を行いました。2件ずつが同趣旨の請願であったため、田口議員は「当局は、保険料値上げ率は『適切な水準』というが、だったら高齢者の方々に、『あなたの保険料は、適切な水準に値上げしました』と通知を出したらどうだ。『適切』だと受け止める高齢者がいるのか。『適切な水準』というは高齢者の生活実態を踏まえないものだ」と広域連合の姿勢を厳しく批判。採決の結果は4件とも不採択でした。

保険料を上げなくてもいい制度に(連合長閉会挨拶)

閉会あいさつで、柴田紘一連合長(岡崎市長)は「保険料を上げなくてもいい制度にしてもらいたい」

保険料の改定案(平均年額) *国試算ベース

- ・一人あたり 75,775円→80,214円
- *均等割額 41,844円→43,510円
- *所得割率 7.85%→ 8.55%

と語りました。議会は午後6時過ぎまで、保険料値上げ問題を中心に議論がたたかわれました。率直な思いを吐露されたのでしょうか。

高齢者の医療費や人口増で保険料値上げ

広域連合が「適切な水準」と言うのは「5.86%の保険料増加率が、一人あたり医療給付費と後期高齢者負担率という国が示す2つの増加要因による上昇率とほぼ同じ」だからです。しかし、後期高齢者医療制度の問題点は「高齢者の医療費や人口の増加が保険料負担に直結し、2年ごとに保険料が上昇する」ことにあるのです。国は、制度の見直しを検討していますが、大元のところは今の制度と変わらない仕組みを検討しています。高齢者が安心できる制度をつくるために頑張ります。

後期高齢者医療広域連合議会(2012年2月9日)の主な議案と態度

議案・請願(請願者)	態度		結果	内容
	共	他		
愛知県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正	*1 ●	○	可決	保険料の値上げ
平成24年度愛知県後期高齢者医療広域連合一般会計予算	○	○	可決	49億9,177万円。前年比106.29%。市町村分担金11億8,028万円。議員報酬34人174万円、電算システム・パソコン等リースの更新など。
平成24年度愛知県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算	*1 ●	○	可決	6,450億5,323万円。前年比105.59%。保険料688億円。保険給付費6383億円、保健事業費20億円など。
後期高齢者医療制度の改善を求める請願書(愛知県社会保障推進協議会)	*1 ○	●	不採択	1. 保険料を引き上げない。県独自の軽減制度を 2. 生活保護基準の1.4倍以下に、一部負担金減免を 3. 「短期保険証」と「資格証明書」の発行はしない 4. 健康診査事業などへの補助で保険料負担の軽減を
“(全日本年金者組合愛知県本部)”	*1 ○	●		
愛知県後期高齢者医療制度に関する懇談会に公募委員を加えることなどを求める請願書(愛知県社会保障推進協議会)	*2 ○	●	1. 懇談会に公募委員を 2. 懇談会の傍聴を	
“(全日本年金者組合愛知県本部)”	*2 ○	●		

○=賛成 ●=反対

*1は柴田(蒲郡)議員 *2は柴議員田(蒲郡)と加藤議員(三好)が共産党と同じ。